

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

文章構成を考え、筆者の主張を読み取ろう。

## 文章構成表

結論	本論	序論	構成
⑦	⑥ ⑤ ④ ③	② ①	形式段落
筆者の主張	意見や具体例	話題提示	おおまかな内容

筆者の主張

わたしたちは、伝えられる映像の外にある部分をわすれないようにしながら、テレビと付き合う必要がある。  
(四十九字)

筆者の意見の述べ方のくふう



問いかけ

(くではないでしょうか。)

効果

読者への呼びかけ  
読者への問題提起

が強まる。

【2 / 9時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」②  
本時のねらい

- ① 序論・本論・結論のまとまりを考えさせ、文章全体の構成を理解させる。
- ② 文章構成表を基に、筆者の主張を読み取らせる。

1 学習計画表を見て本時の学習内容とめあてを確認する。

- 本時は、文章構成を考えながら、筆者の主張を読み取っていくことを確認させる。

2 文章構成表を見ながら、本文を序論・本論・結論に分ける。

- まず、形式段落に分けさせる。
- 文章構成表を提示し、それを基に、序論・本論・結論のまとまりに分けさせる。

※ 既習教材で学習していることを想起させ、説明的な文章の構成について振り返らせるとよいでしょう。

- 各まとまりに書かれているおおまかな内容について、児童と一緒に話し合いながら確認する。

3 文章構成表を基に、筆者の主張をつかむ。

- ⑦段落の二文を比べて考えさせる。
- 筆者の主張を五〇字以内でまとめさせる。

※ 後の文中にある「白い部分」という表現に疑問をもつ児童が現れる可能性もあるので、前の文の「映像の外にある部分」と置き換えて考えることにより、本論の学習も意識させます。

4 筆者の意見の述べ方の工夫について考える。

- 筆者の意見の述べ方の工夫として、読者への問い掛けの形で終わっていることについて考えさせ、このことからメディアとの関わり方を考えていくことが必要であることを押さえる。

評価 ① 文章全体の構成を理解している。

- ② 筆者の主張を読み取っている。

(言イ(キ))

(読ウ)

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 次時は、序論部分を読み取り、本論の構成について考えていくことを伝える。